

- 1 **65°** 10点
二等辺三角形では底角が等しい。 $\angle B = \angle C$ とし、 $\angle A + \angle B + \angle C = 180^\circ$ から、 $50^\circ + 2\angle B = 180^\circ$ 、 $\angle B = 65^\circ$
- 2 **40°** 10点
二等辺三角形では底角が等しいので $\angle B = \angle C = 70^\circ$ 。 $\angle A = 180^\circ - 70^\circ - 70^\circ = 40^\circ$
- 3 **55°** 10点
直角三角形では $90^\circ + \angle A + \angle B = 180^\circ$ 。 $90^\circ + 35^\circ + \angle B = 180^\circ$ から、 $\angle B = 55^\circ$
- 4 **70°** 10点
平行四辺形では対角が等しいので、 $\angle C = \angle A = 70^\circ$
- 5 **AB = ACなので△ABCは二等辺三角形。2つの等しい辺の間の角が頂角∠A、底辺BCの両端の角が底角∠B、∠Cである。底角は等しく、∠B = ∠C。頂角と底角の和は180°である。** 10点
二等辺三角形の基本性質：等しい2辺に挟まれた角が頂角、その対辺の両端の角が底角で、底角は等しい。
- 6 **∠B = 50°、一番長い辺はAB（斜辺）** 10点
三角形の内角の和は 180° 。 $\angle B = 180^\circ - (90^\circ + 40^\circ) = 50^\circ$ 。直角三角形では直角の向かい側にある辺（斜辺AB）が最も長い。
- 7 **平行四辺形は2組の対辺が平行で等しい四角形。対角が等しく、隣接する角は補角（和が180°）である。AB // DCより∠A + ∠B = 180°（同側内角）。∠B = 180° - 60° = 120°** 10点
平行四辺形では隣接する角（連続する角）が補角関係にあります。
- 8 **イ. 2つの辺が等しい** 10点
二等辺三角形の定義は「2つの辺が等しい三角形」です。
- 9 **ウ. すべての辺が等しい** 10点
すべての辺が等しい四角形はひし形であり、一般の平行四辺形では対辺が等しいだけで全辺が等しいわけではない。
- 10 **イ. 1つの角が90°で、他の2つの角の和も90°である** 10点
直角三角形では1つの角が 90° 、その他の2つの角の合計も 90° となります（ $90^\circ + 90^\circ = 180^\circ$ ）。